

Ⅲ—3. 本学卒業生に対する能力評価結果と卒業生の自己評価の対比

・意欲に関する設問項目におけるバランスについて

卒業生の自己評価と採用先満足度とを比較すると、採用先では、各項目において、卒業生の自己評価よりも厳しい評価をいただいた。また、採用先の評価は、平成21年度よりも各項目で卒業生の評価は低くなっている。特に、採用先は、目標設定ができることを求めている。

・考える力に関する設問項目におけるバランスについて

卒業生の自己評価と採用先満足度と比較すると、採用先では、昨年度同様に厳しい評価をいただいた。卒業生の評価も他項目よりも低く評価しているが、採用先が求める力には開きがある。特に、採用先は、課題発見力、創造力を求めている。

・コミュニケーション力に関する設問項目におけるバランスについて

卒業生の自己評価と採用先満足度と比較すると、採用先では、各項目で昨年度より厳しい評価をいただいた。採用先で、発信力、情報伝達を求められ、卒業生も発信力、情報伝達できていないと評価している。卒業生による傾聴力の自己評価と採用先の満足度には大きな差があることが課題である。

・職業人意識に関する設問項目におけるバランスについて

卒業生の自己評価と採用先満足度と比較すると、採用先では、各項目で昨年度より厳しい評価をいただいた。特に、実践力を求め、次いで専門的な能力を求められていることがわかる。卒業生の自己評価でも、実践力、専門的な能力が採用先満足度より低いと意識していることがわかる。

	採用先満足度 青線22年度・ピンク線21年度	卒業生自己評価 青線22年度・ピンク線21年度
意欲	<p>意欲(採用側)</p>	<p>意欲(卒業生)</p>
考える力	<p>考える力(採用側)</p>	<p>考える力(卒業生)</p>
コミュニケーション力	<p>コミュニケーション力(採用側)</p>	<p>コミュニケーション(卒業生)</p>
職業人意識	<p>職業人意識(採用側)</p>	<p>職業人意識(卒業生)</p>